



KIN-BALL[®] sport NEWSLETTER

ご挨拶

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 会長 高見 彰



昨年の会報では2019年のラグビーワールドカップの日本代表の活躍に触れ、2020年のオリンピック・パラリンピックへの期待を込めてご挨拶させていただきました。その時はその後の世界を巻き込んでのパンデミックの状況など想像だにしていませんでした。

自然災害の多い日本ですが、今回のように長期にわたり世界規模に及ぶ災害はこれまでなかったと思います。目に見えない「感染リスク」という“敵”との戦いは、終わりが見えず、社会全体が淀んだ雰囲気となり、精神的になかなかつらいものがあります。キンボールスポーツ愛好者の皆さんも、活動の場や仲間とのふれあいの機会が奪われ、やり場のない喪失感を感じられていたのではないのでしょうか。

日本連盟では主催事業のうち、大会や集合対面での講習会のほとんどすべてを中止といたしました。また2021年に開催

予定であったアジアカップも中止となり、ワールドマスターズゲームズ関西2021も延期となりました。しかしながら、そのような状況の中でもキンボールスポーツの歩みを止めないようにと、感染拡大予防ガイドラインを作成し、オンラインでの会議やルール研修会などを開催するといった新しい方法に挑戦することができました。4月からの開設に向け、より利用しやすいホームページの制作も進めてきました。

閉塞感がただよい、人間関係が希薄になりがちな今だからこそ、キンボールスポーツは社会から必要とされ、大きな存在感を示すことができるスポーツになります。当連盟のソーシャルビジョンである「共遊一楽しむ・つながる・尊重する」こそ、コロナ禍の社会において人々の絆を深め、豊かな社会を作り出すことに貢献できる未来像だと確信しています。

春の選抜高校野球が開催されるなど明るい話題もありますが、まだまだ気を緩められない日が続きます。会員の皆さんも感染リスクに対して万全の対策を行いながら、キンボールスポーツを楽しんでいただけたらと思います。

2020年度の主な事業報告

2020年度はコロナ禍の中、予定していた主催事業（講習会及びジャパンオープンフレンドリーカップ、チャンピオンズカップ、ジュニア合宿など）のうち一つの大会を除いてすべてが中止となりました。また、これまで対面で行っていた総会や理事会、実務に関することを検討し実施計画を立てる運営会議も全て中止となり、代わりにZoomを使ったオンライン会議になりました。スポーツ庁「スポーツ活動継続サポート事業」の助成金を受けオンライン会議の環境を整えることができたため、初めての試みであるにもかかわらずスムーズに会議を行うことができています。



一日も早くみんながスポーツを楽しめる日が戻ることを願って

コロナ感染対策

関連では、上記の「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を競技委員会が中心となって作成し、2020年7月20日にホームページにアップしました。その後も他団体が作成したものを参考にしたり、危機管理の専門家や医師の話を聞き、改訂を重ねています。

物からの感染の可能性も否定できないため、不特定多数でゼッケンを使うことで感染リスクが高くなるのではないかと不安の声が多く寄せられました。個人でゼッケンを所有し感染リスクを少しでも減らしたいという要望に応えるため持続化給付金と2020年度の予算の一部を使い、公式のゼッケンを会員の方に特別価格で販売しました。当連盟が主催するジャパンオープンなどの大会では公式のゼッケンであればマイゼッケンを使用することができます。

また、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成事業は下記の通りです。

●競技要覧の制作

初心者向けのミニパンフレット。ルールだけでなく、キンボールスポーツの価値を共有できるよう工夫し、制作しました。

●ホームページの制作

キンボールスポーツを知らない方も知っている方も知りたい情報をいち早く得られるホームページの制作を行いました。

●奈良グラデュエーションカップ2021

2021年3月21日(日)に奈良県香芝市総合体育館にて標記の大会が開催されました。主催は奈良県連盟と日本連盟。2020年度唯一の主催大会です。コロナ感染拡大防止のため厳しい規則を設け、役員・スタッフ一丸となり大会運営に臨み、参加者は久しぶりの試合を満喫しました。